

## 歴史(飛鳥時代②・クーデター編)

7世紀の中ごろ、日本では①\_\_\_\_\_氏が独裁的な政治をしていた。そこで、②\_\_\_\_\_と③\_\_\_\_\_が①\_\_\_\_\_氏をたおし、新しい政治のしくみをつくる改革を始める。これを④\_\_\_\_\_ (⑤\_\_\_\_\_年) という。その改革の一つとして、豪族が支配していた土地と人々を、国家のものとする⑤\_\_\_\_\_が示された。その後、②\_\_\_\_\_は即位して⑥\_\_\_\_\_天皇となり改革を進めた。⑥\_\_\_\_\_天皇の没後、あつぎをめぐる⑦\_\_\_\_\_ (⑧\_\_\_\_\_年) がおこり、勝った大海皇子は即位して⑨\_\_\_\_\_天皇となり、政治のしくみをつくりあげていった。⑨\_\_\_\_\_天皇の没後は、その皇后が⑩\_\_\_\_\_天皇として即位し、中国の都にならい、日本ではじめての本格的な都である藤原京をつくった。